

## 熊本市広報効果検証及び戦略的活用提案業務委託業者選定委員会審査基準

熊本市広報効果検証及び戦略的活用提案業務委託業者選定委員会の審査基準に関し、以下のとおり定めるものとする。

### 1 審査方法

- (1) 「熊本市広報効果検証及び戦略的活用提案業務委託業者選定委員会設置要綱」に基づく、熊本市広報効果検証及び戦略的活用提案業務委託業者選定委員会(以下「委員会」という。)において、審査を行う。
- (2) 審査方法は、審査項目ごとの評価点数の合計点数を競う「プロポーザル方式」により行う。

### 2 審査の手順

- (1) 企画提案書受付時に熊本市広報課(以下「事務局」という。)にて提示金額が提案上限額以内であるかを確認する。提示金額が提案上限額を超えている場合には、その企画提案書は審査から除外する。
- (2) 委員会の委員(以下「委員」という。)及び事務局は提出の記載内容を事前に確認する。
- (3) 審査では委員会にて、提案者からのヒアリングを原則実施する。  
※やむを得ない事情により、対面によるヒアリングは実施せず、オンラインによるヒアリングや選定委員による企画提案書等の書類審査のみを実施する可能性もある。  
※参加者多数の場合は、書類による書類審査を実施する場合がある。  
※最終的な審査実施方法については、別途通知する。
- (4) 委員会は、「別表審査項目」に示した項目ごとに評価する。
- (5) 事務局は、(4)において各委員が評価した点数を合計し、全委員の合計点数を提案者の得点とする。

### 3 受託候補者の選定

- (1) 審査の結果、合計点数の最も高い提案者を候補者として選定する。
- (2) 複数の提案者が同点の場合には、審査項目のうち、「企画提案能力」の合計点数が高い者を上位とする。「企画提案能力」の合計点数も同じ場合は、くじにより決定する。
- (3) いずれの提案も合計点数が6割に満たない場合には、要求する水準に満たないものとして候補者の選定に至らないものとする。

熊本市広報効果検証及び戦略的活用提案業務委託業者選定委員会 別表審査項目

項目		評価の基準	配点
企画提案能力	実施方針	基本仕様書の内容を十分に理解し、本業務の目的達成に寄与できるような戦略的提案となっているか。	10
	企画提案	データ分析に関して、専門的知識及び技術を活かし、具体的に分析されているか。	20
		広報媒体の分析及びアンケート分析の結果を踏まえ、本市の広報の現状に即した課題及び目標を、定量的・定性的の両面から適切に設定できているか。	20
		サンプルテーマによる改善提案は、分析結果を踏まえた一連の流れ(分析・課題整理・改善策・活用)が明確に示されているか。分析については、具体的な指標や手法が示されているか。 また、本市の広報施策に適用可能な内容となっているか。	30
業務経費	配点×(提案者のうち最低価格÷提案者の提案価格) ※少数点第2位以下切り捨て	5	
業務遂行能力	業務遂行能力	本業務を遂行する上で、必要な人材や経験を有する責任者をきちんと配置するなど、業務を確実に履行できる体制が確保されているか。	5
		類似業務の実績を有し、本業務を確実に履行できる能力が認められるか。	5
	スケジュール	基本仕様書の内容を踏まえ、各業務の準備段階を含めたタスク管理が適切に行われ、無理なく効果的に実施が可能なスケジュールとなっているか。	5
合計			100